

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月14日

【四半期会計期間】 第63期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 エムティジェネックス株式会社

【英訳名】 MT GENEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 均

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目35番10号

【電話番号】 03-5405-4011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 藤沢久晃

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目35番10号

【電話番号】 03-5405-4011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 藤沢久晃

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期 連結累計期間	第63期 第3四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,527,614	1,503,345	2,127,642
経常利益 (千円)	285,200	299,498	372,409
四半期(当期)純利益 (千円)	158,951	175,625	200,623
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	157,995	176,169	201,051
純資産額 (千円)	1,649,215	1,825,147	1,692,236
総資産額 (千円)	2,084,092	2,260,565	2,372,965
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	14.74	16.29	18.61
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	79.1	80.7	71.3

回次	第62期 第3四半期 連結会計期間	第63期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.51	9.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかに持ち直しのものと期待されたものの、円高の長期化や海外経済の減速等先行きは不透明なまま推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、「快適な都市環境・オフィス空間の提供をサポートするトータルプロパティコーディネーター」として、「リニューアル事業」、「駐車場運営管理事業」、「住宅・ビル管理事業」の3事業を柱とする安定的な収益基盤の確立に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,503,345千円（前年同期比1.6%減）、営業利益289,578千円（同5.1%増）、経常利益299,498千円（同5.0%増）、四半期純利益175,625千円（同10.5%増）となりました。

期初の計画では前年同期に比べ増収減益を想定しておりましたが、市場環境が悪化する中で売上は若干の減収を余儀なくされました。しかしながら、採算を重視した受注・販売活動を強化し、原価管理の徹底に努めた結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益においては、前年同期及び期初の計画を上回ることができました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

リニューアル

企業の設備投資意欲が減退する事業環境の中、オフィスビルの入退去に伴う内装工事の受注活動に注力し、計画を大きく下回ることなく受注を獲得することができましたが、前年同期の業績には届かず、売上高は596,184千円（前年同期比14.7%減）、営業利益は161,340千円（同8.5%減）となりました。

駐車場

個人、法人ともに自動車利用を控える事業環境の中、前年下半期に開設した駐車場及び前年下半期に獲得した大型の月極契約等が寄与し、前年同期の業績を大きく上回ることができました。この結果、売上高は486,474千円（前年同期比23.7%増）、営業利益は77,336千円（同36.1%増）となりました。

住宅・ビル管理

受託ビル拡大及び管理コスト低減、防火対象物点検業務の受注拡大、トイレトーパー等卸売業務の原価管理徹底と販路拡大、自販機設置業務の設置場所拡大にそれぞれ注力いたしました。この結果、売上高は374,282千円（前年同期比4.5%減）、営業利益は39,147千円（同1.9%減）となりました。

その他

保険代理業務の受注拡大に注力いたしました。この結果、売上高は46,405千円（前年同期比5.7%増）、営業利益は11,753千円（同363.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、関係会社への貸付金が300,000千円増加したものの、現金及び預金が282,566千円減少したこと、また、完成工事未収入金が99,176千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ112,400千円減少いたしました。

負債は、保険代理業務等における預り金が235,723千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ245,311千円減少いたしました。

純資産は、配当金の支払43,126千円、四半期純利益175,625千円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ132,911千円増加いたしました。

以上の結果、総資産は2,260,565千円、負債合計は435,417千円、純資産合計は1,825,147千円、自己資本比率は80.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において当社が対処すべき事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 未現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,796,000	10,796,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	10,796,000	10,796,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		10,796,000		1,072,060		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 14,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,746,000	10,746	
単元未満株式	普通株式 36,000		
発行済株式総数	10,796,000		
総株主の議決権		10,746	

- (注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、すべて当社保有の自己株式であります。
 2. 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が9,000株(議決権9個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
エムティジェネックス株式会社	東京都港区新橋五丁目35番10号	14,000		14,000	0.13
計		14,000		14,000	0.13

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、清陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,031	529,464
受取手形及び売掛金	47,770	42,703
完成工事未収入金	157,579	58,402
未成工事支出金	10,299	2,080
関係会社短期貸付金	1,100,000	1,400,000
繰延税金資産	19,753	13,962
その他	31,536	32,580
貸倒引当金	447	227
流動資産合計	2,178,523	2,078,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,534	6,534
減価償却累計額	5,305	5,452
建物及び構築物（純額）	1,228	1,082
機械装置及び運搬具	1,257	1,257
減価償却累計額	890	1,027
機械装置及び運搬具（純額）	366	229
土地	22,048	22,048
その他	25,199	27,988
減価償却累計額	13,442	16,667
その他（純額）	11,757	11,321
有形固定資産合計	35,401	34,680
無形固定資産		
のれん	67,313	52,889
その他	7,013	7,038
無形固定資産合計	74,326	59,928
投資その他の資産		
投資有価証券	18,866	19,711
敷金及び保証金	47,217	47,177
繰延税金資産	15,894	17,536
その他	13,512	13,340
貸倒引当金	10,778	10,778
投資その他の資産合計	84,713	86,988
固定資産合計	194,442	181,597
資産合計	2,372,965	2,260,565

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,330	39,525
工事未払金	114,718	77,140
未払法人税等	40,927	42,316
前受金	33,900	43,624
未成工事受入金	-	1,331
預り金	315,780	80,057
賞与引当金	11,659	5,098
その他	15,082	30,071
流動負債合計	577,399	319,165
固定負債		
長期預り敷金	77,845	89,343
退職給付引当金	25,483	26,908
固定負債合計	103,329	116,252
負債合計	680,728	435,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,072,060	1,072,060
利益剰余金	619,590	752,090
自己株式	1,839	1,971
株主資本合計	1,689,811	1,822,178
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	2,425	2,969
その他の包括利益累計額合計	2,425	2,969
純資産合計	1,692,236	1,825,147
負債純資産合計	2,372,965	2,260,565

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,527,614	1,503,345
売上原価	1,054,059	1,002,775
売上総利益	473,555	500,570
販売費及び一般管理費	197,905	210,991
営業利益	275,649	289,578
営業外収益		
受取利息	7,766	8,850
受取配当金	346	374
雑収入	1,961	694
営業外収益合計	10,075	9,919
営業外費用		
雑損失	524	-
営業外費用合計	524	-
経常利益	285,200	299,498
税金等調整前四半期純利益	285,200	299,498
法人税、住民税及び事業税	105,949	120,023
法人税等調整額	20,299	3,848
法人税等合計	126,248	123,872
少数株主損益調整前四半期純利益	158,951	175,625
四半期純利益	158,951	175,625

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158,951	175,625
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	955	544
その他の包括利益合計	955	544
四半期包括利益	157,995	176,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,995	176,169
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	4,227千円	6,702千円
のれんの償却額	14,424 "	14,424 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	43,129	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	43,126	4.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	リニューアル	駐車場	住宅・ビル管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	698,522	393,418	391,766	1,483,707	43,907	1,527,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	698,522	393,418	391,766	1,483,707	43,907	1,527,614
セグメント利益	176,397	56,822	39,894	273,114	2,535	275,649

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、貸会議室運営管理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,114
「その他」の区分の利益	2,535
四半期連結損益計算書の営業利益	275,649

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	リニューアル	駐車場	住宅・ビル管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	596,184	486,474	374,282	1,456,940	46,405	1,503,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	596,184	486,474	374,282	1,456,940	46,405	1,503,345
セグメント利益	161,340	77,336	39,147	277,825	11,753	289,578

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、貸会議室運営管理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,825
「その他」の区分の利益	11,753
四半期連結損益計算書の営業利益	289,578

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	14円74銭	16円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	158,951	175,625
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	158,951	175,625
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,782	10,781

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月8日

エムティジェネックス株式会社

取締役会 御中

清陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 野中 信男 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 智喜 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエムティジェネックス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エムティジェネックス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。